

令和6年度 障害を理由とする差別に関する相談状況について

<相談件数概要>

- 相談件数は 46 件であった。
- 受付時には、不当な差別の訴えに関わる相談、合理的な配慮に関わる相談に類型したもの 24 件、「その他※」の相談として類型したもの 22 件であった。

<相談件数>

- 相談件数

障害者差別解消推進員（県）	25件	合計
障害者差別地域相談員（市町村）	21件	46件

- 受付時における分類

		県	地域
不当な差別に関わる相談	9件	2件	7件
合理的配慮に関わる相談	15件	5件	10件
その他	22件	18件	4件

□ 相談件数の推移

区分	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4
障害者差別に関わる相談件数	43件	54件	64件	52件	71件	33件	12件
内数) 不当な差別に関わる相談件数	22件	24件	22件	22件	25件	12件	5件
内数) 合理的配慮に関わる相談件数	21件	30件	42件	30件	46件	21件	7件

区分	R 5	R 6	累計
障害者差別に関わる相談件数	16件	24件	369件
内数) 不当な差別に関わる相談件数	4件	9件	145件
内数) 合理的配慮に関わる相談件数	12件	15件	224件

□ 「その他※」の相談

「障害者差別に関わる相談」として受理したが、傾聴事案として対応したもの、及び不当な差別や合理的配慮の提供に関わる相談として類型しなかったもの

区分	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4
障害者差別地域相談員	16件	16件	38件	6件	35件	2件	2件
障害者差別解消推進員	10件	11件	32件	27件	30件	16件	11件
合計	26件	27件	70件	33件	65件	18件	13件

区分	R 5	R 6	累計
障害者差別地域相談員	2件	4件	121件
障害者差別解消推進員	13件	18件	168件
合計	15件	22件	289件

□ 障害種別相談件数

- ・ 身体障害者からの相談が多かった。（同一人物からの相談のため）

障害種	件数	障害種	件数
聴覚障害	5	発達障害	3
視覚障害	2	難病	0
身体障害	17	その他	8
知的障害	1	不明	2
精神障害	9	計	47

・ 重複障害の方がいるため

□ 相談者別相談件数

- ・ 当事者とその家族からの相談がほとんどだった。
- ・ 事業者からは、障害者への対応の仕方に関する相談が主だった。

相談者	件数	相談者	件数
当事者	29	事業者	4
家族	8	その他	4
支援者	1	計	46

□ 相談分野別相談件数

- ・ 公共交通・医療・福祉に関わる相談の比率が高かったが、様々な分野に相談があった。
- ・ 地域相談員に寄せられた差別関連以外の相談は、「その他」の項目に含めた。

相談分野	件数	相談分野	件数	相談分野	件数
労働・雇用	3	不動産	0	建物	1
サービス	3	医療	8	その他	16
行政	2	教育	3		
福祉	6	公共交通	8	計	50

複数相談の方がいるため